



えりこ
しのだ江里子市政だより

札幌市議会
民主市民連合

〒060-0001
札幌市中央区北1条西2丁目札幌市役所17F
TEL(011)211-3212 FAX(011)218-5121

No.47


〈東区〉2025.3

ゆるぎない想いささえあいの東区

今冬、1月半ばまでまとまった雪もなく、雪まつりに雪が不足するのではと心配をしていましたが、1月30日以降のドカ雪は2月20日を過ぎても、なお降り続き、南区定山溪では例年を大きく超え累計降雪量は6M 真近となりました。

温暖化による降雪と言われていますが、さらに夏の猛暑が思いやられる今日この頃です。まずは順調に除排雪が進むよう注視し、札幌の春を楽しみましょう。

札幌市議会の第1回定例会が2月13日に開会し、秋元克広市長は2025年度各会計予算案等62議案を提出されました。前年度比約249億円（2%）増の1兆2666億円は過去最大となりました。秋元市長は「大切なものは守り続けながら、変化を恐れず進み、次の時代へつないでいく」と所信表明されました。

子ども・子育て支援を強化し、現在「中学生まで」対象の入院・通院費の助成を、4月から「高校生世代」の18歳まで拡大、総額約69億円となります。公共交通網の維持と路線バスの運転手確保に向け、補正予算案含め29億を措置、路線維持補助を拡充し事業者の経営基盤を下支えするほか、路線廃止に伴う代替交通の導入や、大型二種免許取得への補助継続、就労一時金の支給、外国人材の受け入れに関する支援制度を新設します。

13日の本会議では秋元市長は物価高騰対応として、家庭用水道基本料金2カ月分減額を提出し、家庭用水道基本料金の2カ月分減額（2904円）に係る水道事業会計への繰出金として約31億を計上しました。対象は約104万世帯、今年10、11月分の基本料金を減額します。

また食材費の高騰を受け、学校給食の保護者負担額を据え置くための公費負担分（約16億）や、子ども食堂に対する食材購入支援（800万円）を盛り込みました。

あわせて札幌市議会は13日の本会議で、『パレスチナでの停戦合意の完全履行等を求める決議案』を全会一致で可決しました。

情勢の鎮静化と中東和平の実現に向け、政府に対し、関係国や国連諸機関と緊密に連携しつつ、格段の外交努力を払うよう要請、イスラエルとハマスが合意を完全に履行し、一刻も早くパレスチナでの平和な暮らしが実現できるよう求めました。

今年も皆様の目となり、耳となり、代弁者として活動してまいります。

2025年3月

札幌市議会副議長 しのだ江里子



第1回定例市議会代表質問

本質問（2025.2.19）たけのうち裕美議員（中央区）、補充質問（2.21）蒼ひろみ議員（南区）が実施しました。

1. 市長の政治姿勢について ＜物価上昇を上回る賃上げに向けた取組について＞

建設業、医療・福祉、製造業など多くの産業で人材不足が深刻化しており、エネルギー・原材料価格の高騰が長期化する中、事業者の経営環境は厳しさを増している。実質賃金は改善傾向にあるものの、物価上昇に追いついておらず、市民生活は依然として厳しい状況にある。

昨年に引き続き、今年1月に道内の行政機関や労働団体、経済団体を構成員とする「北海道政労使会議」が開催され、価格設定のサプライチェーン全体への定着化と生産性向上を通じた持続的・構造的な賃上げを目指す共同宣言が採択され、この会議には、道内自治体として札幌市も唯一参加しており、秋元市長も構成員として参加している。

宣言では、依然として価格転嫁が進んでいない企業が4割を超えていることを踏まえ、構成員間の連携・協力を強調している。

質問：適切な価格転嫁と生産性の向上を促進し、

市内企業が賃上げを実現していくための取組が必要と考えますが、市長のお考えを伺う。

答弁：市内中小企業の持続的な賃上げを実現するためには適切な価格転嫁と生産性の向上促進が欠かせないと認識しています。

札幌市としてはこれらを柱とする「北海道政労使会議」で採択された共同宣言について、市内企業に対して広く周知すると共に、経済団体と労働団体、札幌市で構成する「札幌市働きやすいまち推進協議会」で課題を共有し意見交換を重ねてまいります。

加えて、生産性の向上については、引き続き働き方改革やデジタル技術の活用に対する支援を進め、人手不足対策として、新たに外国人材の受け入れを促進に取組みます。

国に対しては引き続き適切な価格転嫁や物価高騰支援を要望しつつ、持続的な賃上げが重要であるとの認識のもと、経済の成長と分配の好循環の実現に向けて、関係機関と連携しながら必要な取組を行ってまいります。

2. ＜区役所における支援調整課の全市展開について＞

近年、少子高齢化の進展、単身高齢世帯の増加、地域のつながりの希薄化など、社会環境や家庭環境の変化により、福祉ニーズは複合化・複雑化している。

国は、「地域共生社会」の実現に向けて社会福祉法の改正を行い、市町村の役割として、住民が主体的に地域課題を把握し解決するための仕組みづくりや、複合化・複雑化した課題を受け止めるための包括的な支援体制の整備に努めることが規定された。

札幌市でも、複合的な福祉課題を抱える世帯や、制度の狭間にある世帯への支援強化のため、2022年度から北区・東区、2023年度から厚別区・南区を加えた4区をモデル区として、区保健福祉部

に支援調整課という新たな部署を設置した。この課は、区役所に寄せられた様々な相談に対して、組織横断的な連携体制のもと支援を行う役割を担っており、2025年度から全市展開される。

今後は市民が支援から漏れることがないよう、取り組みをしっかりと機能させる必要があり、支援調整課が十分に機能するには、区の現場で対応する職員の対応力の向上はもとより、職員が疲弊したり、過度に困難な状況を抱え込むことがないよう負担の軽減が不可欠であり、支援調整課の取組が各区職員にとっても有益なものとなることが求められる。

加えて、複合的な福祉課題に対応するためには、区役所内部だけでなく、地域福祉を担う様々な団体との連携が重要であり、支援調整課は、その連携を担う役割も必要だと考える。

今後は、3年間のモデル区での実績やノウハウを活かし、こうした課題も踏まえた上で全市本格実施を開始するべきと考える。

質問：次年度の全市展開後、支援調整課がどのように取組を進めていくのか、伺う。

答弁：来年度から全区に設置する支援調整課が中心になり複合的な福祉課題等を抱えた世帯への対応について、関係課と共に支援方針や役割分担の協議を進めます。

あわせて、支援調整課が担当職員のサポートや協働意識の醸成を進めることで、これまで十分に対応がしきれなかったケースも幅広く受け止め円滑な支援につなげてまいります。

また、支援調整課が窓口になり、区の社会福祉協議会との連携を強化し、福祉制度の狭間にある世帯に必要な支援をつなげ、外部の支援機関とのネットワークづくりも進めていきます。

全市展開にあたってはモデル区の経験やノウハウを各区に還元し、新たな支援事例等についても情報共有や意見交換を行いながら、支援の質の向上を図ってまいります。

東区冬季体験型防災訓練(2025.2.21)

昨年の能登半島地震を受け、冬季の災害対策を市民が確認する目的で実施され、地域住民と市立開成中等学校の1年から5

年生有志の計170人が参加、夜間の部にインターン生と参加しました。

無暖房の体育館は5℃になり、防寒着着用、貼るカイロはつけているものの、寒く震える。

元自衛隊員で札幌市立大学鬼塚美鈴講師による冬に備える講義では災害関連疾患を防ぐためのキーワードTKB+W、季節を問わず重要な「トイレ」「食事」「就寝環境」+「保温・加温・暖房」であり、「厳冬期は保温や加温が重要、低体温症予防にカロリー摂取ができるものや温かい食べ物の用意を」と呼びかけた。

班に分かれ、学校内の受水槽、備蓄物資倉庫を見学、毛布のみ、キャンピングベッド、段ボールベットでの真冬の就寝体験を行った。また、冷温と加温の非常食試食体験では加温の方がど越しがよく、加温ができる環境整備も必要です。

東警察署からは災害時の防犯について講義、避難場所での犯罪やサイバー犯罪について学生たちも真剣に受け止めていました。

冬季防災訓練により、地震災害の被害想定をすることで、日常から備蓄や避難場所について家族



東署の防犯講座



アルファードのドライカレーと缶詰おでん

2025 年度実現する事業

<東区札幌北中学校の過密化対策>

札幌市で一番生徒数の多い札幌北小と札幌緑小の卒業生が進学する札幌北中学校では、この間、地域の保護者からの要望を受け、過密化対策を検討していましたが、この度プレハブ校舎を校庭内に増築し、9クラスを増床することになりました。今年度設計に入り、2028年4月に供用開始です。その間、大型車両通行の通学環境悪化も想定されますが、安全に行われることを祈念します。身体が大きくなった中学生のギチギチクラスは心身の発達に問題もあり、一日も早い増床完成を求めます。

<生理用品の学校トイレへの設置>



東署の防犯講座

2021年コロナ禍の生理の貧困以来、教育委員会に要望書を提出、質問もしてきました。保健室での個別支援・指導とは別に、4月から順次トイレへの設置が決まりました。

札幌市立小・中・高、義務教育学校、中等、特別支援学校すべてに設置され、急な生理、生活環境の急変など、生理用品の準備がない児童生徒が不安やストレスなく学校生活を送れるようになり、すでに実施している学校では安心の学校生活の一助となっています。

多忙な教職員には負担をかけることなく、生徒たちがトイレ掃除の際に対応していきます。

活動報告

<2025 さっぽろ雪まつり>

2月4日から11日までさっぽろ雪まつりが開催され、

3か所の開会式に参加しました。

オープン前からインバウンド観光客が詰めかけ大雪像は大盛況。東区つどーむ会場では、暖気のため屋外のチューブスライダーは滑走中に止まってしまうなど、想定外の状況でしたが、家族連れが多くみられました。すすきのアイスワールドでは南7条までのフルスペック、氷彫刻コンクールが大人気でした。



<エイペックスレジェンド グローバル シリーズ札幌大会> (1.29 ~ 2.2)

世界で1億人がプレイするアジア初のeスポーツ大会がプレミストムドームで開催され、大会はYouTubeで配信され、5日間で3,000万人が視聴、約3万人が来場され、ドームの機能が十分に利用され、好評でした。



皆様のご意見をお寄せください

しのだ江里子事務所

〒065-0024 札幌市東区北24条東16丁目1-7
グローバルビル2F (元町駅1番となり)
Tel: 011-784-1086 Fax: 011-792-0081



公式HP



Facebook